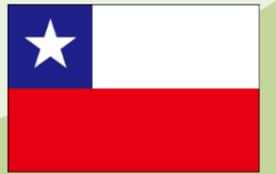


# チリの世界遺産 #1



モアイの頭に載せてあるものは「ブカオ」と言い、先住民の言葉で「髪、髪飾り」という意味です！



アフ・トンガリキ

15体の巨大なモアイ像が並ぶ「アフ・トンガリキ」です！モアイが立っている台座は「アフ」と言い、「祭壇」を意味します。

## ラパ・ヌイ国立公園（イースター島）

「ラパ・ヌイ国立公園」は1995年にUNESCOの世界遺産に登録され、イースター島にある公園です。イースター島はチリ本土より約3,700 km離れ、首都のサンティアゴから飛行機で6時間もかかります！自差2時間あります。

「ラパ・ヌイ国立公園」には「モアイ像」が約900体もあります！

最も大きいモアイ像は「テ・トカンガ（巨人）」といい、約20メートル、重さ200トンもあります！モアイ以外にも先住民の住居跡や壁画、「ラナ・カウ火山」などの魅力的なスポットが盛り沢山！

## イースター島？ ラパ・ヌイ？

1722年4月5日にオランダの海軍が島にたどり着きました。その日が「イースター（復活祭）」だったため、「イースター島」と名付けられました。スペイン語では「イスラ・デ・パスクア（復活祭）」、原住民の言葉では「ラパ・ヌイ（大きい島）」といます。

2019年に「ラパ・ヌイ-イースター島」という名称に変わりました！

## モアイ像の謎

**どうやって作られた？** ほとんどのモアイは島の東部にある「ラノ・ララク火山」の岩場にある「凝灰岩（ぎょうかいがん）」で作られました。「凝灰岩」は加工しやすいので、硬い石を使って、昔の先住民がモアイ像を切り出したそうです！モアイ像は20人の力で1年以上かけて作られました。

**なぜ作られた？** モアイ像の土台から人の骨が発見されたことで「モアイ像」は「お墓」だと考えられています。

**「モアイ」ってどういう意味？** 先住民の言葉で「モアイ」の本当の名前は「モアイ・アリンガ・オラ」です。日本語で「先祖の顔」という意味です！



島は3つの火山から成り立っています。その一つは「ラノ・カウ火山」です！「ラノ・カウ」は「広いクレーターと豊かな水のある火山」という意味です！クレーターには長い年月をかけて溜まった雨水が作り出した湖があります



風化などの影響で大きな石にしか見えないモアイ像もあるんだ〜ご！

